

ほけんだより 臨時号

令和6年10月16日
練馬区立開進第一小学校
校長 海老沼寛之
保健室 ほけんだより

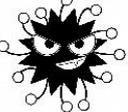


かんせんしょう ちゅうい 感染症にご注意ください！！



9月から10月にかけて、開一小を含め開進地区周辺では、さまざまな感染症が流行しています。学校は集団生活の場であるため、感染症に罹患した場合は、感染拡大防止の観点から「出席停止」の措置をとらせていただいています。また、出席停止期間は学校保健安全法で定められているものもあり、病状が回復して学校に登校する際は、必ず主治医の登校許可が必要となります。

<9～10月にかけて本校で発生している主な感染症>

伝染性紅斑（りんご病） 	かぜ様症状の後に、両頬に蝶のような形の紅斑が見られ、続いて体や手足にはレース状の紅斑がひろがる。幼児や児童に好発する。
手足口病	口の粘膜と手のひら、足の甲やうらに2～3mmの水疱性発疹を生じる感染症。乳幼児に好発する。
水痘（水ぼうそう）	38℃前後の発熱と全身に3～5mmの発疹が見られ、発疹は紅斑、丘疹、水疱、膿疱、かさぶたの順に進行する。同時に各病期の発疹が混在する強い感染症。
マイコプラズマ感染症（肺炎）	発熱、全身倦怠感、頭痛などの初期症状の3～5日後に乾いた咳が出現し徐々に強くなる。学童期以降の細菌性肺炎としては最も多い。5歳以上で10～15歳頃に好発するが、成人も罹患する。
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の症状を呈する急性呼吸器感染症。頭痛、下痢、味覚異常、嗅覚異常等の症状も見られる一方で、無症状のまま経過することもある。
溶連菌感染症 	発熱、咽頭発赤、莓状の舌の症状が特徴的。まれに猩紅熱に移行する場合もある。抗菌薬で治療を行う。学童期の小児に多い。

★主治医の登校許可がでましたら、別紙の「登校届」に保護者の方がご記入いただき、担任まで提出してください。ご協力お願いいたします。